



西国街道と共に繁栄した 海田宿

さいごくかいどう・かいたいち

西国街道・海田市

平成23年度認定 / 広島県安芸郡海田町 / 西国街道・海田市ガイドの会

時が往き他人が行き交う西国街道宿場町。

西国街道の宿場町海田市は、広島城開城とともに城下から東(京・江戸)への第1番目の宿場として発展し、人々の送迎など賑やかであったと伝えられています。

江戸時代に入り、海田市は大坂と下関を結ぶ宿場の一つとして発展を続けていきました。海田市には大名や役人の宿泊にあてる御茶屋(本陣)、脇本陣、人馬継所等の

施設があります。脇本陣跡から街道沿いに西へ150m程進むと「月星」の家紋が入った白い壁の屋敷が見えてきます。ここが江戸時代「天下送り役」を勤め第二脇本陣的な役割を果たしていた「旧千葉家住宅」です。数寄屋風書院造の奥座敷や木々に包まれた庭園、大きな岩をくり抜いた「つくばい」など、当時の生活が偲ばれます。千



千葉家の庭園は、庭石、樹木を配置した池泉式座視鑑賞庭園で、約200年前の絵図とほぼ同じ配置で残っています。春には桜が満開となり、美しい情景が広がります。左手に雪隠、浴室のある建物があり、当時のまま残されています。

江戸時代の
暮らしが
見えてくる



欄間・襖で仕切られた数寄屋風書院造の部屋が続きます。(千葉家)



雪隠、浴室に向かう途中に石をくり抜いた「つくばい」があります。(千葉家)

葉家より更に西に江戸時代の大農家「三宅家」の建物、明顕寺の梵鐘が、街道の風景が様変わりしていく中当時の面影を色濃く残しています。「一里塚跡」を境に街道を逸れ山手の間道を通り抜けると道は急な上り坂となります。その先、飯山(馬背山)に海田市の庄屋で役務の傍ら終生学問(神儒学)に打ち込んだ「加藤缶楽の墓」があります。道は狭い石段に変わり山の方へ続き、整然と立ち並ぶ墓地が静寂感を際立たせています。そこから西国街道が整備される以前、東西を結ぶ道として利用された古の「灘道」へと入ります。落葉が足を

やわらかく包み心地よい感触です。旅を急ぐ先人達もここで癒されたことでしょう。更に歩足を踏み入れると、眼下にかつての「潮干の浜」であり今は町となっている海田を一望できます。ここを山の方に入っていくと左に朱塗りの「月光山大師寺」があります。そして、その先左は日浦山への遊歩道です。山道を下っていくとやがて「熊野神社」の境内にでます。熊野神社は海田市の氏神で、人々や参勤交代の街道を見守り続けてきました。本殿から海田の町を眺めながら急な石段を下ると、そこは西国街道です。

「時をつなぎ・人をつなぎ、地域をつなぐ。」



「西国街道・海田市ガイドの会」の天野嘉明さん(左)、会長の百本邦子さん(中)、事務局長の乗重文夫さん(右)

西国街道沿いにある千葉家は平成3年に県重要文化財に認定された海田を代表する歴史的建物です。我々はそのような良き歴史を引き継いでいきたいと思っています。また、海田市は様々な歴史の流れがあって面白く、魅力のある町です。海田市の西国街道をよく見て歩く道路境界線が鍵状になっていたり、工事で掘り起こした際に貝殻が出てきたことで昔は海だったことが証明されたりと、色々発見があります。道を通じて地域をつなぐということで、他地域とも仲良く交流をしていきたいと思っています。

二葉の里歴史の散歩道 P149

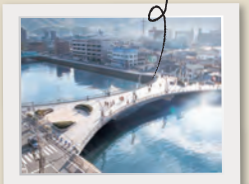
西国街道・瀬野 P141



西国街道・海田市 P 駐車場 WCトイレ

- ① 明顕寺
- ② 三宅家住宅(新宅屋)
- ③ 旧千葉家住宅(神保家)
- ④ 織田幹雄スクエア
- ⑤ 脇本陣跡 加藤家(猫屋)
- ⑥ 御茶屋(本陣)跡
- ⑦ 熊野神社
- ⑧ 灘道
- ⑨ 一里塚跡
- ⑩ 胡神社(新町) 荒神社
- ⑪ 胡子神社(稻荷町) 火の見やぐら
- ⑫ 海田総合公園
- ⑬ ひまわり大橋
- ⑭ 県天然記念物 観音免のクスノキ
- ⑮ 海田町役場

鼓をモチーフとした「ひまわり大橋」
鼓は、海田が鼓浦と言われていたこと
に由来しています。



県天然記念物 観音免のクスノキ



海田総合公園
スポーツ施設や遊具広場
フルーツガーデンなど
海田町の交流の場となっています。



交通 ● 織田幹雄スクエアまで
府中ICから車で約10分
JR海田市駅から約0.5Km

お問い合わせ ●
海田町役場 企画部 魅力づくり推進課
☎082-823-9234

ぶらり歩いてみよう



明顕寺 三宅家住宅
江戸時代の農家の面影を残す三宅家住宅は約
200年前の建築で、その向いには天文10(1541)
年開基の明顕寺があり、立派な梵鐘は西国街道か
らも望めます。

旧千葉家住宅(県重要文化財)
千葉家は江戸時代を通じて天下送り
役などの役職を勤めました。寛政元
(1789)年の建築略図が残されてお
り、御茶屋や脇本陣の代わりに、上級
役人が休泊することもあったようです。



熊野神社
承応3(1654)年庄屋猫屋次郎兵衛
が願主となり社殿を造営。文政8
(1825)年拜殿建立。
毎年10月には秋祭りが行われます。

灘道
西国街道が整備される以前、東西を結ぶ
道として利用されており、西国街道より山手
にある古道。そこからは、かつては海であ
った街並みや西国街道などが見渡せます。

一里塚跡
寛永10(1633)年に西国
街道が整備された際に一里
ごとに塚が設けられ、街道の
両側には直径6mの塚と松
の木2本がありました。

イベント・活動

ワークショップ
事前研修会として、西国街道・
海田市の歴史勉強会やコース
選定の討議、フィールドワークを
実施しました。
平成23年には西国街道・海
田市ガイドのマニュアルを作成
しました。

ガイド
毎月第3・第4土曜日に定期ガ
イドを行っています。
また、随時ガイドとして、JRふれ
あいウォークや小学校課外授
業協力などを行っています。

歴史講演会
講演後に実際に現地へ行き
フィールドワークを行ったりと、
50名程の参加者が集い、「千
葉家文書 道中安樂記」や「熊
野神社の建築物について」と
いった講演会を開催していま
す。

ガイドさんと歩きますか?
西国街道・海田市ガイドの会
(海田町役場 企画部 魅力づくり推進課)
TEL: 082-823-9234 FAX: 082-823-9203



みんなが集まる
交流施設

織田幹雄スクエア
海田町の社会教育拠
点である「海田公民館」
と海田町出身で日本人
初のオリンピック金メダ
リスト織田幹雄を顕彰
する施設です。

オススメ周辺情報

- 海田総合公園
- 県天然記念物 観音免のクスノキ